

平成28年度難病医療等従事者研修開催要領

1. 目的

平成28年4月の熊本地震、また10月の鳥取県中部を震源とする地震、さらには、全国各地における集中豪雨災害など、災害はいつどこで発生してもおかしくない状況である。

そのような中で、難病患者・家族に係る災害時対応に関しては、人工呼吸器、痰吸引器、酸素などの電気を使った医療機器の問題や医療的処置、重要な内服、食事形態などの多くの課題について、患者・家族、支援者、行政等がそれぞれの立場で整理検討していく必要がある。

また、患者・家族、支援者、行政等が情報共有や相互の連携を図る必要がある。

以上2つの主たる目的を推進するために、研修会を開催する。

2. 主催者

島根県難病医療連絡協議会・島根県（健康福祉部健康推進課所管）

3. 対象者

難病患者、家族、病院、診療所、介護保険施設、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、保健所、市町村等の難病患者・家族を支援する医療・保健・福祉関係者・防災関係者

4. 日時

平成29年2月25日(土) 13:30～16:30

5. 場所

島根県民会館 大会議室（〒690-0887 島根県松江市殿町158 TEL: 0852-22-5506）

6. 内容

1) 基調講演

講師：熊本難病・疾病団体協議会 代表幹事 中山 泰男 氏

演題：「熊本地震を振り返って」

2) パネルディスカッション

パネリスト

市川貴子氏(平成26年8月の広島市土砂災害で自宅を被災、日本ALS協会広島県支部所属、障害福祉サービス事業所Links広島管理者)

渡部浜子氏(訪問看護ステーション愛 所長、出雲市ALS患者の避難訓練を実施)

深崎美樹氏(益田保健所 医事難病支援課 保健師)

長野純子氏(津和野町 医療対策課 保健師)

助言者

中山泰男氏(熊本難病・疾病団体協議会 代表幹事)